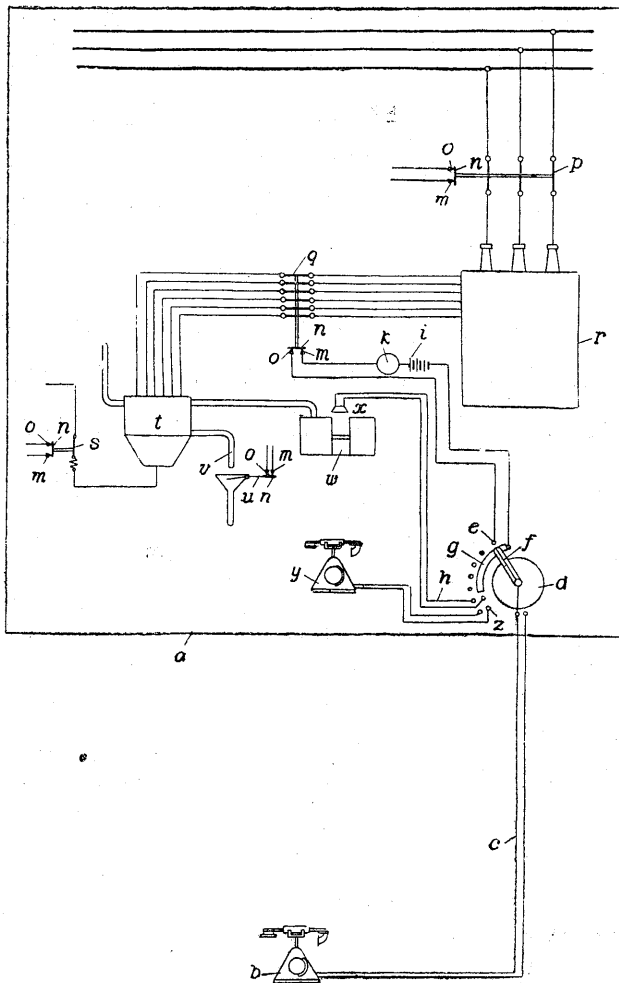


### 自働變電所其他電氣設備の遠隔監視方法

近頃電力を分配する爲めに、一定の時刻に或は一定量を超過して、電力需要の増加する際、自働的に起動し、而して消費線路に自ら接続する所の監視人の無い變電所が使用され、而して斯様な變電所では、三相交流を直流に変換する變流機或は整流器が設備され、且つ時々電力需要に應じ、多數或は少數の變電所内の機械を運轉させる所の装置が設けられる。之等の變電所の運轉状態は從來監視人が之を巡廻點検してはじめて其の完全に動作してるか否かを確めることが出来た。之から述べやうとする方法によれば、任意の構造の撰擇通話装置を備へた電話器から線路(一般に二線を用ふ)を線電所に導き、而して數多の區分線路と所定の接觸を形成する所の分配装置



が配置される様な方法で遠隔監視が行はれる。而して自働開閉器及び其の他監視される點に、補助接觸が備へられ、其の接觸は監視位置の電話器に例へば“バザー”の様な騒音を生ずる装置の中間接觸を経て撰擇通話装置の接觸に接続される。變電所で作業中に監視位置と通話の出来る様にするためには撰擇通話装置に變電所内の電話器を接続するのである。更に又、騒音を立てながら動作する例へば整流器の空氣“ポンプ”の様な装置にあつては“ポンプ”が動作する時監視位置から完全にその動作を聴取出る様に其の傍に送話器を装置することが出来る。

添付圖面は整流器を備へた自働變電所に對する此の方法の實施例である。

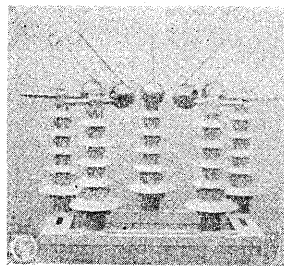
自働變電所其他電氣設備の遠隔御方式

圖に於て (a) は變電所 (b) は

撰擇通話装置を備へた電話器 (e) は接續線であつて (d) は撰擇通話装置によりて制御される變電所内の開閉装置である。接續線 (e) の兩線を接續した接觸刷子 (e) (f) を備へた腕は接觸軌條 (g) 及び接觸列 (h) (z) 上を滑る接續軌條 (g) に於て蓄電池 (i) を經て “バザー” 装置 (k) が接續され、其の自由端子から接觸橋 (n) を制御する所の開閉器其の他の補助接觸 (m) に導かれる接觸 (m) の隣に配置された接觸 (o) は、其の接觸 (h) の内の一個が接續されること、恰も、例へば變壓器 (r) の高壓開閉器 (p) 低壓開閉器 (q) 及び直流側一線接地の整流器 (t) に於ける、直流開閉器 (s) に對するのと同様である。整流器 (t) に於ては其の冷却装置から (v) を通じて冷却水が排出される時に閉鎖する所の前記の様な接觸装置が一個の振動子 (u) に設けられる。(w) は整流器用の空氣 “ポンプ” であつて其れに接近して送話器 (x) が配置されてある。(y) は普通の電話器であつて送話器 (x) と全く同様に開閉装置 (d) の接觸 (z) に於て閉鎖される。開閉装置 (d) の腕に取付けられた接觸刷子 (e) が接觸 (h) の任意の一接觸上に持ちされ來れば之に相應する開閉器が閉鎖せられある時 (b) に於て “バザー” の騒音が聽かれる “バザー” の音の起らないのは開閉器が開放されてあることを示すのである。若し送話器 (x) が本線に接續される位置を適當に撰定すれば “ポンプ” が動作する時に (b) に於て直接騒音を聽くことが出来る。最後に又何人か變電所に居る様な場合には電話器 (y) との接續を行ふことが出来る。

此の配置は又如何なる時に於ても接續装置 (d) の位置の撰擇の後開閉器が閉鎖されない時に “バザー” が鳴り而して “ザバー” 騒音の停止が開閉器の挿入を表示する様に作ることも出来る。

此の發明は監視人の無い變電所に對するばかりでなく任意の他の自動的配置の監視に對しても適當である。(特許課)



65000V 用角型避雷器



\*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する  
商標または登録商標である場合があります。